

プチナースさん、 七尾病院に来てくれてありがとう!

看護部長 酒井 陽子



石川県看護協会によるプチナースふれ合い訪問事業として、5月12日に小丸山認定こども園の年長児8名が、七尾病院に来てくれました。この事業には、園児が地域の病院に出向き、患者さんとのふれ合いや簡単な看護ケアを通して、命の大切さや優しい心を育みたいという願いがあります。私はその願いにプラスして七尾病院の患者さんに、地域の子供達とふれ合う機会があれば、きっと喜んでいただけたらと思います。その日を楽しみにして待ちました。

子供達は小さな白衣と聴診器を身につけて、写真を撮ってから、楽しく聴診体験をしました。

それから七尾病院の入院患者さんと出会うご挨拶したあと、風船バレーやパラシュートでリハビリをしました。子供達と患者さんは、徐々にお互いの緊張がほぐれ、笑顔と挨拶がとっても上手になっていきました。子供達からも、とても素敵な踊りのプレゼントや患者さんや看護師へのメッセージカードのサプライズもあって、大感激でした。

七尾病院の患者さんからは、「可愛くて本当に楽しかった。」「子供達からエネルギーをもらったよ。」などのご意見がいただきました。中には、お話しができてにくい患者さんや手足が動きにくい患者さんもいらっしゃいましたが、子供達の可愛さに魅せられて自然に言葉が出て、子供に手が差し伸べられる姿も見ることができました。

小丸山認定こども園の子供達に、患者さんに優しく接する気持ちや病院で働く職員のイメージが少しでも心に残って、将来の医療や看護を担いたいと思ってくれると最高に嬉しいなあと思いながら、私も純粋に子供達の姿に癒された1日でした。このような地域とのふれ合いの機会をくださった石川県看護協会、小丸山認定こども園の先生方はじめ、企画・運営に協力いただいた療育指導室やリハビリスタッフに心から感謝いたします。

